

2001年第2回幹事会議事録

日本学生オリエンテーリング連盟

議長:芳賀

日時:2001年10月20日

場所:拝島旅館

出席者:

芳賀(幹事長) 武村(副幹事長)

金田(会計) 的場(事務局長)

小林(広報) 米本(北東)

宇田川(関東) 長谷川(東海)

岸本(関西) 山本(中九四)

松永(会計監査) 小熊(活動報告書)

広江(理事) 土方(理事)

大滝(理事) 大西(技術)

1. インカレ改革案について

前回幹事会から今回幹事会までに地区学連ごとにクラシック競技,リレー競技について意見聴取を行ったのでその結果を発表

クラシック競技

北東...A, B 北信越...未発表 関東...A 東海...B 関西...A, B 中九四...B

男子リレー競技

北東...4人 北信越...未発表 関東...4人 東海...3人 関西...4人 中九四...3人

(個人戦のA, BはA:競技者削減, B:2部制のことである。また上記はあくまでも意見の多かったほうを掲載した。詳細については省略。)

クラシック競技

まず,現状のエリート数のまま今後行うのは現実的に無理。

B案は技術委員会内の議論で余計に負担がかかり現実的ではないと判断されつつあるとの報告があった。またB案の支持理由として「これ以上エリート数を減らしたくない」との意見が大半であった。そこで男子のそれぞれの学連枠を1から2へ増やしインカレの魅力を失わないように配慮し,エリート数削減の方向で考えることにした。

「段階的に減らすべき」との意見もあったが「先延ばししているだけ」との意見が多数であり段階的に減らすことはしないこととする。

アンケート結果,エリート数を減らしてほしくないという意見が多く,男子75人女子50人(スタート2時間30分)という案が出された。スタートと時間スタートが現行の3時間から30分の短縮で効果があるのか技術委員会で考えてきてもらう。

そこで幹事会としては以下の申し合わせ事項を作成した。

加盟員数(1200)×過去最高のインカレ参加率

(日光インカレの74%) + 努力目標 = 900人

インカレ参加者数が2年連続900人より少ないならば翌年のインカレのエリート数は男子60人女子40人とする。900人を超えれば75人,女子50人とする。

男子リレー競技

現状の4人制・ウイニング(1人)50分は運営的に厳しく現実的ではない。しかし運営負担軽減に対する意見もなくただ現状維持を望んでいる学校が多い。これに関しては現状を理解してもらえていなく残念に思う。もし4人制を維持するのであればウイニング40分にすれば運営はできるだろう。しかしテレインと会場の関係によって実質的にオリエンテーリングをするのが30分ぐらいになることを覚悟しなければならない。

完走率を上げようと思えば3人制にするほうが効果はあるだろう。そこで幹事会は以下の2つの案を考え、総会で議決を取ることにする。

3人制・ウイニング50分

4人制・ウイニング40分なお女子については現行(3人制・ウイニング45分)のままで行う。

2. ユニバー助成金について

今まで1年で50万円、2年間で100万円をユニバー助成金として払ってきたが現在の財政状況を考えると減額すべき。減額方法として「一定額を援助」と「用途を指定して援助」という2つの案で幹事会内の意見が割れる。前者の意見としては開催地による変動相場の変動を気にせず予算が立てやすい、後者の意見としては使用目的がはっきりとわかり理解しやすい。そこで上限70万円を設けて指定用途(報告書関連費、大会参加費、大会中の宿泊費、オフィシャル交通費)に関して援助を行う。予算としては1年で35万2年で70万を支出する形となる。

10/10 幹事会内で承認

3. 新人について

現在の加盟員数1200人ぐらいで昨年に比べて200人ほど減少している。加盟員減少を止めるためにも学連として何らかの支援をしていく。

(特に新歓活動)ピラについて

過去3年間使用してきたピラの在庫が大量に残っている。学連の財政的に今年度新しくピラを印刷するのは得策ではない。村越さんの作成したピラがあり学連が要求すれば販売する気がある。

総会時に村越さんピラと学連ピラを両方提示し各校に好きなほうを注文してもらおう。

ノウハウについて

各校の新歓活動におけるノウハウの共有化をすべきだろう。

各校の新歓マニュアルを収集してマニュアル集を作り各校に配布する。編集、製本に関してはできるだけ事務局の負担にならないよう行う。

4. 財政について

加盟員の減少の影響で予算案より30万円ほど収入が少ない見通し。支出部分を抑えるのは難しい? 賛助会員を増やし収入を増やしたい。賛助会員の申込方法を改善できないか。学連HPから直接申込ができるようにならないか。

可能か検討してみる? 現行では関東学連以外の地区学連にはフィードバック制度があるが直接出身大学へ還元するにすれば学生ももっとOBOGを勧誘するのではないだろうか。

今後検討する? 日本学連後援大会での賛助会員募集の強化後援申請に対して具体的に要求する。

5. 加盟校の定義について

さまざまな学校の形態があり現行の「加盟に関する規則」判断しかねる自体が推測される。その場合、幹事会が最終判断を下せるように規約改正を行うことで一致。明文化についてはML上で原案を作成し、総会で承認を取りたい。

6. 来年度の役員探し

現在の状況を確認

7. 第35回日本学連総会について

議長を中九四に依頼

8. 大会後援申請

第24 回東北大学オリエンテーリング大会申請期限が2 ヶ月も遅れていて、なおかつ既に終了している。

承認できない

第24 回早稲田大OCオリエンテーリング大会

10 / 10 承認

9. 理事会報告

加賀ショートのシードならびに裁定委員を決定。各理事それぞれの仕事をした。

10. 幹事会報告

- 1) 幹事長: 芳賀俊哉
- 2) 副幹事長: 武村讓
- 3) 会計: 金田岳志
- 4) 事務局長: 的場洋輔
- 5) 事業部長: 不在
- 6) 広報部長: 小林由幸

11. 地区学連活動報告

- 1) 北東学連: 米本路憲
- 2) 北信越学連: 田中猛史
- 3) 関東学連: 宇田川雅令
- 4) 東海学連: 長谷川靖
- 5) 関西学連: 岸本誠之
- 6) 中九四: 山本輝明

12. 各委員会報告

- 1) 加賀インカレショート実行委員会
- 2) 矢板インカレ実行委員会
- 3) 技術委員会: 大西淳一
- 4) 活動報告書作成委員会(小熊)

活動報告書作成委員会の設置・委員長の承認

10 / 10 承認? 12 月上旬には原稿を回収して編集を行う。原稿依頼はこれから行

日本学生オリエンテーリング連盟

う。

13. 次回幹事会の日程について
1 月20 日(土), 東京にて行う。

以上